

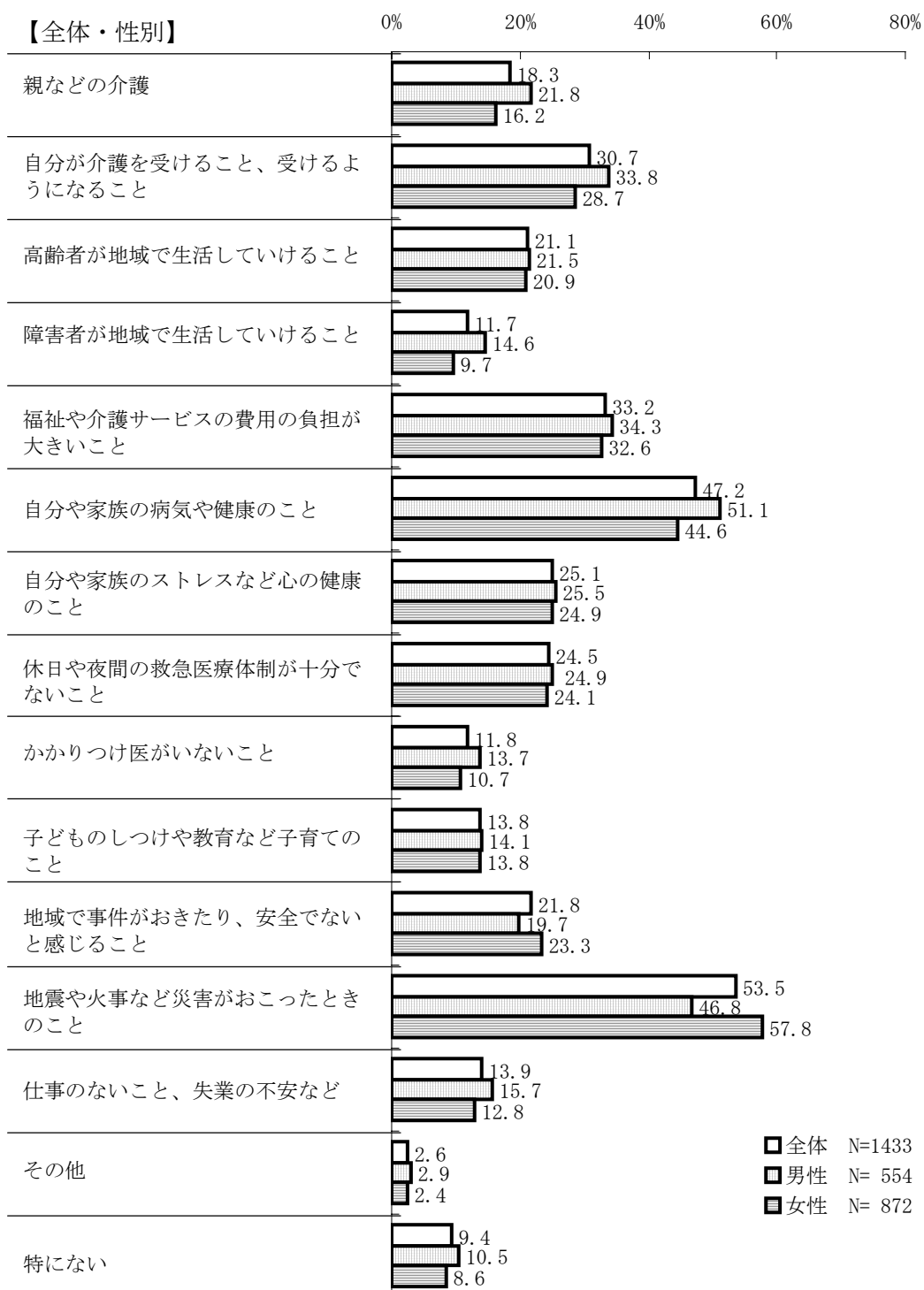
3. 日常の困りごとについて

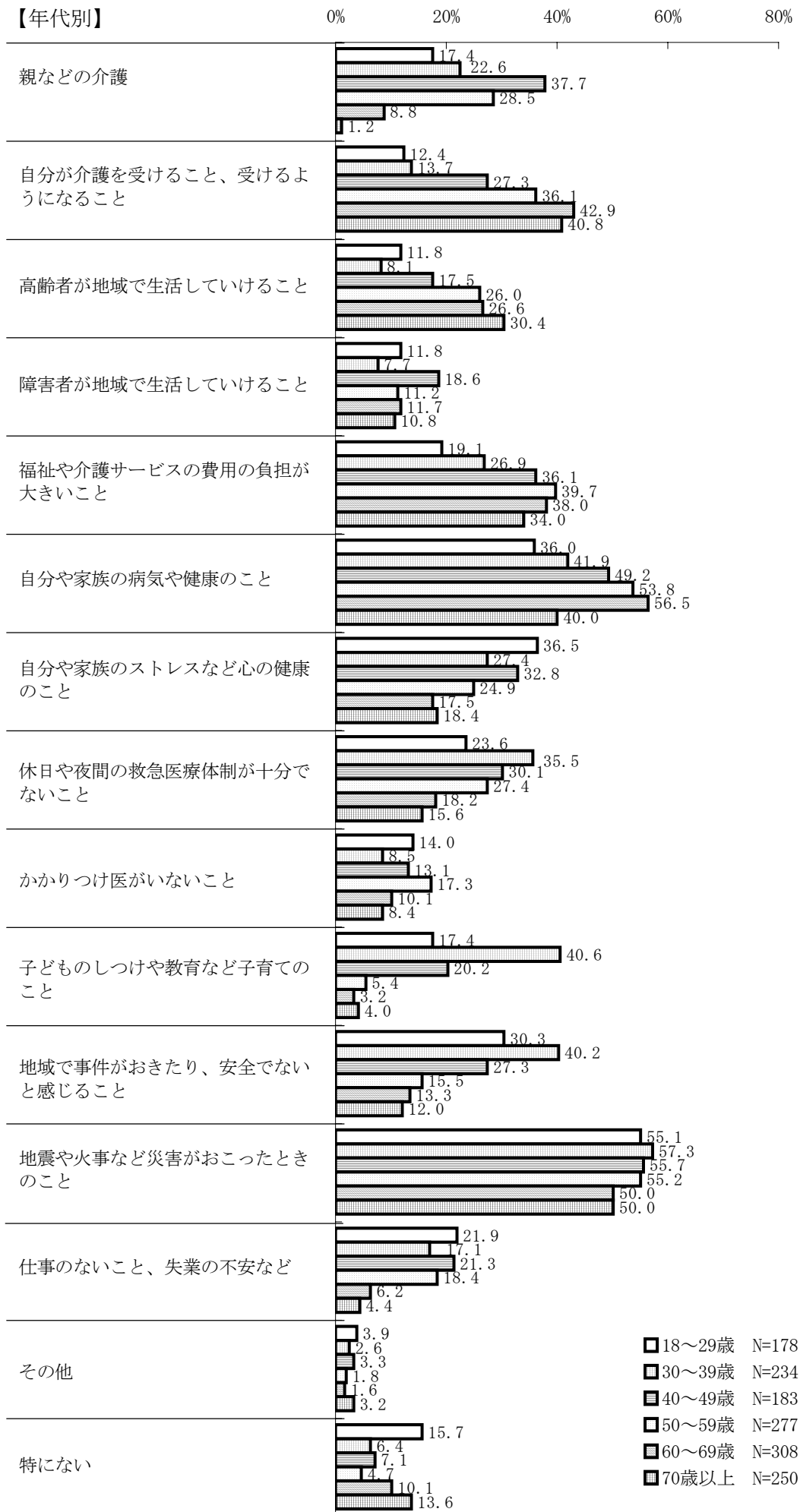
問 14 あなたは健康や福祉などに関することで、現在困っていることや不安に感じていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「地震や火事など災害がおこったときのこと」が最も高く5割以上となり、次いで「自分や家族の病気や健康のこと」となっている。

性別では、「地震や火事など災害がおこったときのこと」と「地域で事件がおきたり、安全でないと感じること」は女性のほうが高いが、他の項目はすべて男性のほうが高い。

年代別では、30歳代で「子どものしつけや教育など子育てのこと」、「地域で事件がおきたり、安全でないと感じること」、60歳以上で「自分が介護を受けること、受けるようになること」が高くなっているように、子育てや介護の問題などにおいて各年代を取り巻く状況がうかがえる結果となっている。





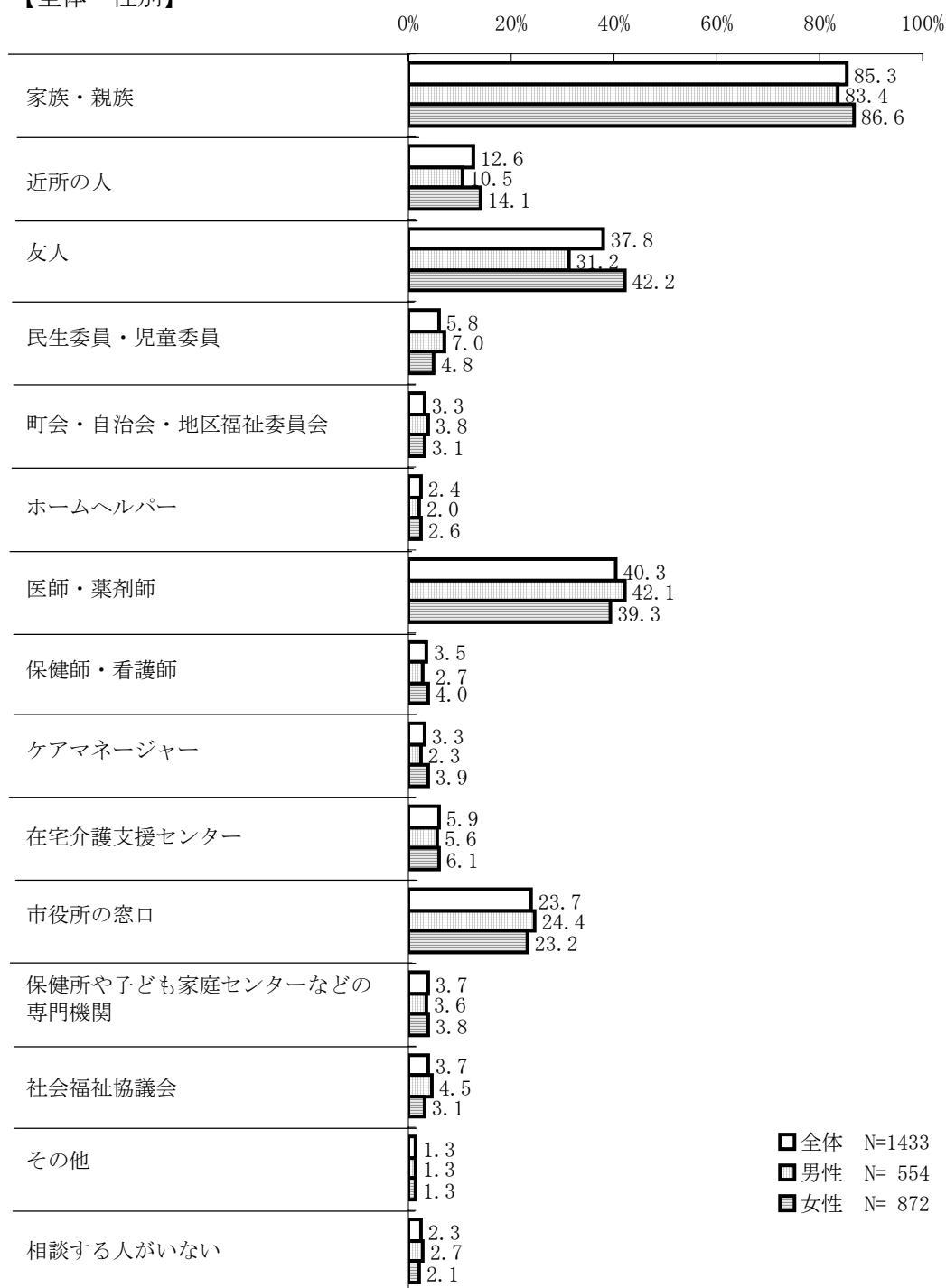
問 15 あなたは健康や福祉などで困ったときに、だれに（どこに）相談しますか。（〇はいくつでも）

全体では、「家族・親族」が最も高く、85.3%となった。次いで「医師・薬剤師」、「友人」と続いている。

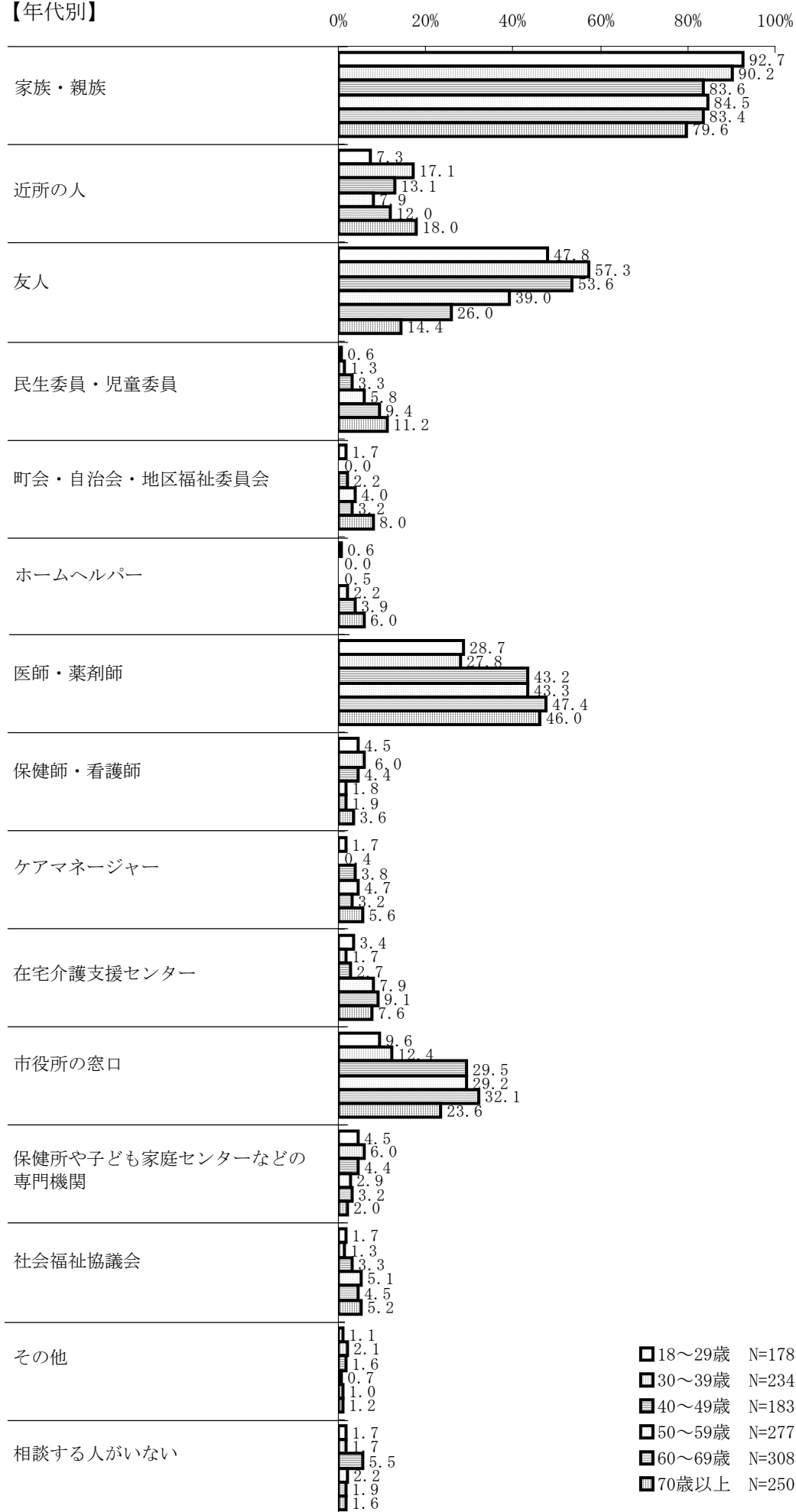
性別では、男女ともに「家族・親族」が最も高い。次いで男性は「医師・薬剤師」、「友人」、女性は「友人」、「医師・薬剤師」の順で高くなっている。

年代別では、「友人」は40歳代以下で高く、「医師・薬剤師」は40歳代以上で高くなっている。

【全体・性別】



【年代別】



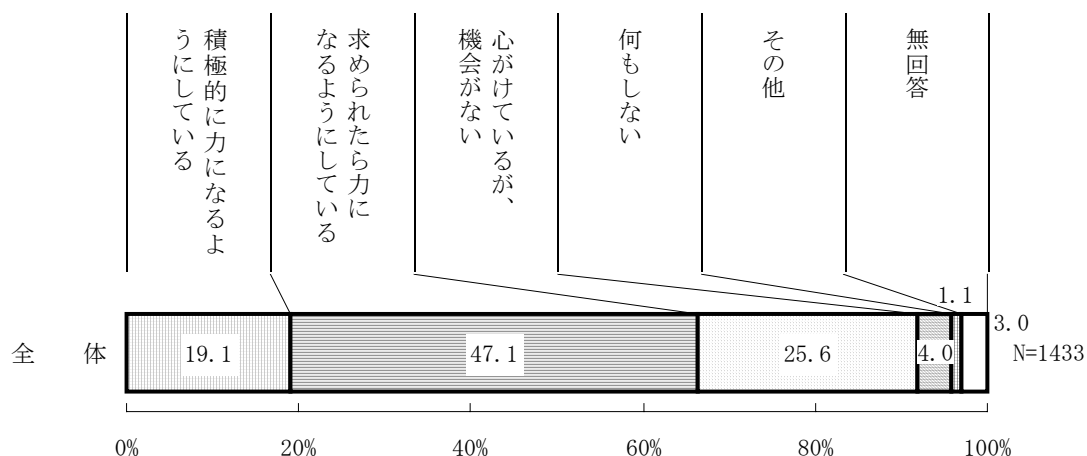
問 16 あなたは困っている人を見かけたとき、どのように行動しますか。(○は1つ)

全体では、「求められたら力になるようにしている」が最も高く、次いで「心がけているが、機会がない」となっている。

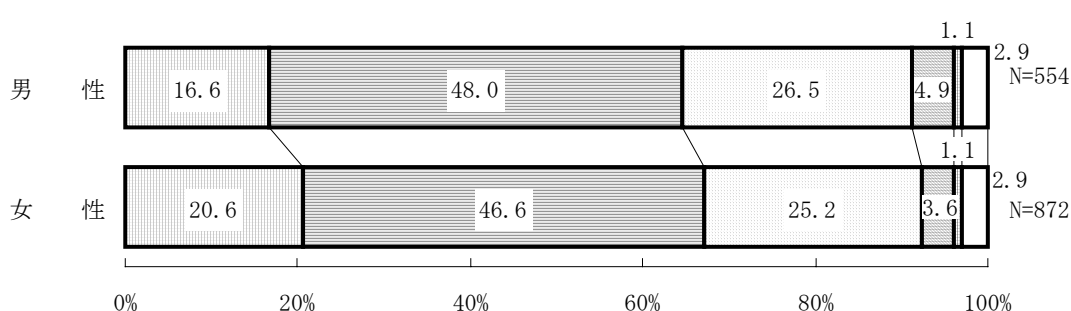
性別では、女性は「積極的に力になるようにしている」が2割に達しており、男性よりも4ポイント高い。

年代別では、20歳代以下と40歳代で「積極的に力になるようにしている」がやや高い。70歳以上では「何もしない」が1割を占めている。

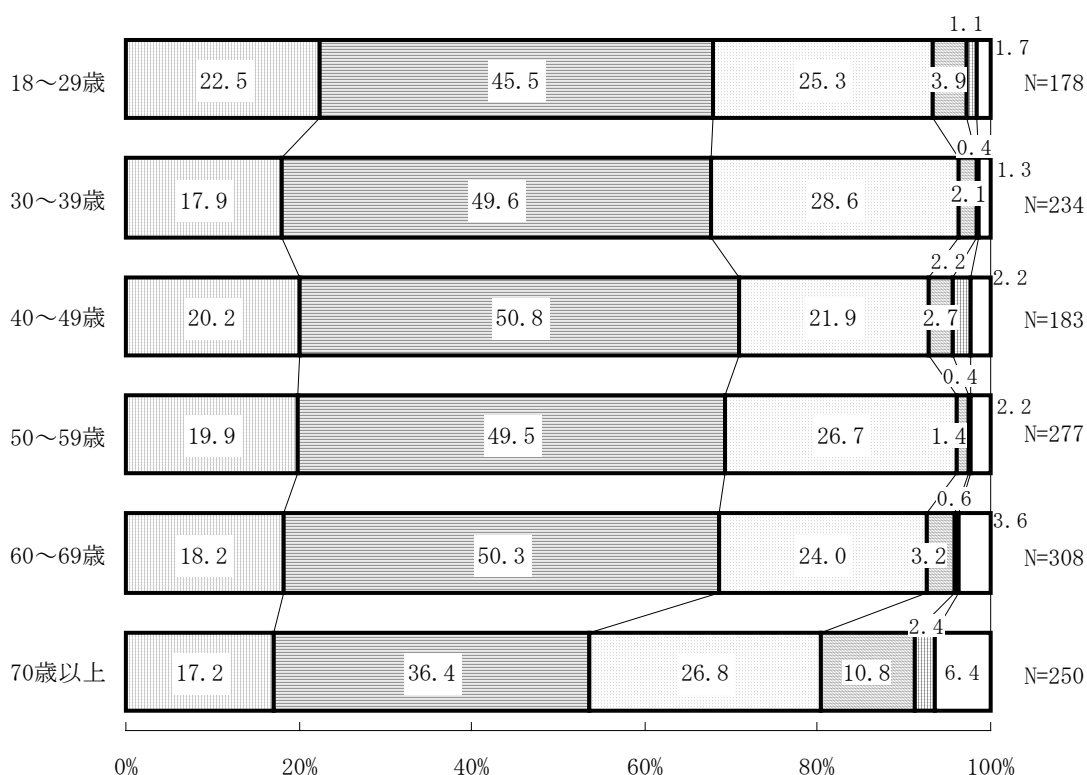
【全体】



【性別】



【年代別】



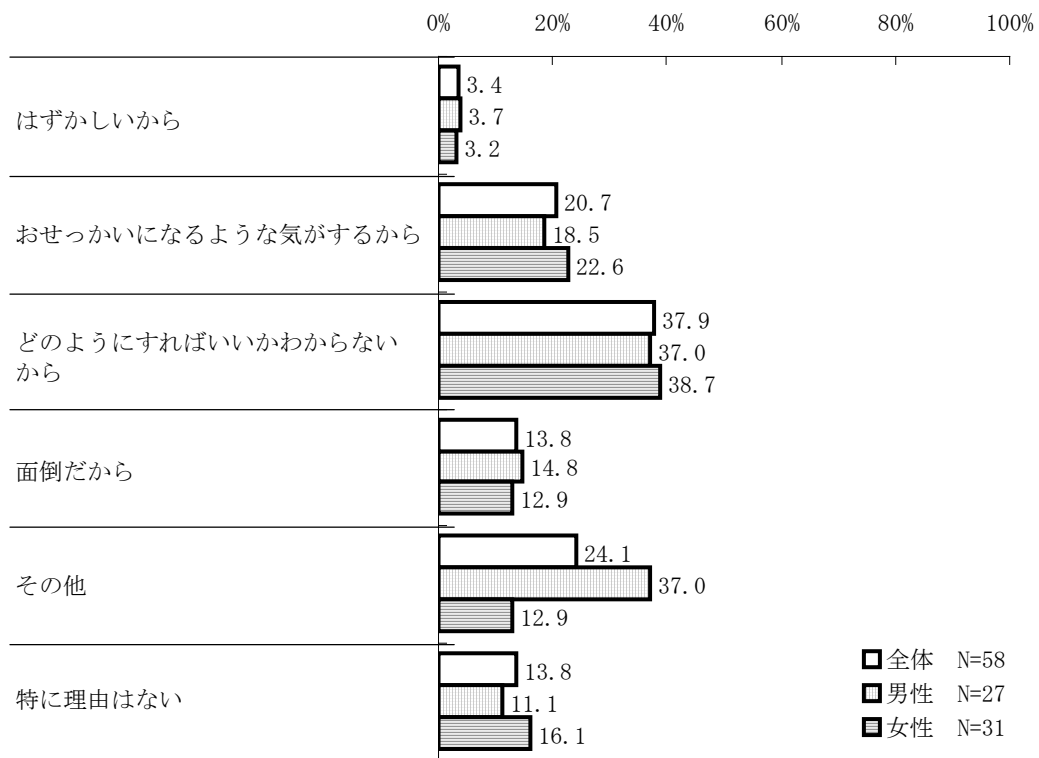
問 16-1 何もしない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「どのようにすればいいかわからないから」が最も高く、次いで「おせっかいになるような気がするから」が1/5の割合である。

性別では、具体的な項目では傾向に大きな差はみられないが、男性は「その他」が4割弱となっている。

年代別では、40歳代と60歳代が「どのようにすればいいかわからないから」、50歳代が「おせっかいになるような気がするから」、30歳代が「面倒だから」が高く、年代層により様々な理由に分かれている。

【全体・性別】



【年代別】

